

## 監修・解説

小野田 滋 (おのだしげる)



1957年、愛知県生まれ。1979年、日本国有鉄道入社。南武線高架工事、立川駅改良などを担当。1987年、(財)鉄道総合技術研究所入所。1998年「鉄道用煉瓦構造物の技術史的研究」で工学博士授与(東京大学)。現在、鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長。『鉄道構造物探見』(JTB/2003年)、『高架鉄道と東京駅』(交通新聞社新書/2012年)にて交通図書賞受賞。その他、多数の鉄道関連書籍を執筆。



## ピアノ伴奏 (第1回/第2回)

柳下 美恵 (やなした みえ)



武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。1995年に映画生誕100年記念上映会(朝日新聞社主催)でデビュー以来、国立映画アーカイブやボロニャ復元映画祭など国内・海外の映画館、映画祭で活躍。欧米スタイルの無声映画伴奏者は日本初。ドラマ・記録映画、洋画・邦画を問わず幅広いジャンルのサイレント映画を伴奏している。2006年度 日本映画ペンクラブ奨励賞受賞。



### 申込方法

各開催日の **1ヶ月前** より **A** webサイト、または **B** 往復はがきにてお申し込みください。

#### A webサイト

月曜シネサロン&トーク 公式webサイトにアクセスし  
申込フォームよりお申し込みください。

[www.cinesalon.jp](http://www.cinesalon.jp)



■ 申込締切: 各開催日の午前中まで

#### B 往復はがき

① 氏名(ふりがな) ② 希望する部(昼or夜) ③ 人数  
を記入の上、下記宛先までお送りください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1  
(株)東京国際フォーラム 事業推進部「シネサロン担当」宛

※ 返信面にご住所・お名前を記入ください。

■ 申込締切: 各開催日の5日前(到着分有効)

- ・ 申込受付は先着順とし、定員に達し次第受付終了となります。
- ・ お申込みは自動返信メール、返信はがきをもって完了といたします。当日いずれかを受付でご提示いただき入場料をお支払いください。

【当日券について】 空席がある場合には当日券も販売いたします。  
当日券の有無につきましては、公式サイト(www.cinesalon.jp)でお知らせいたします。

会場 **東京国際フォーラム ホールD7**  
(受付6階) 東京都千代田区丸の内3-5-1

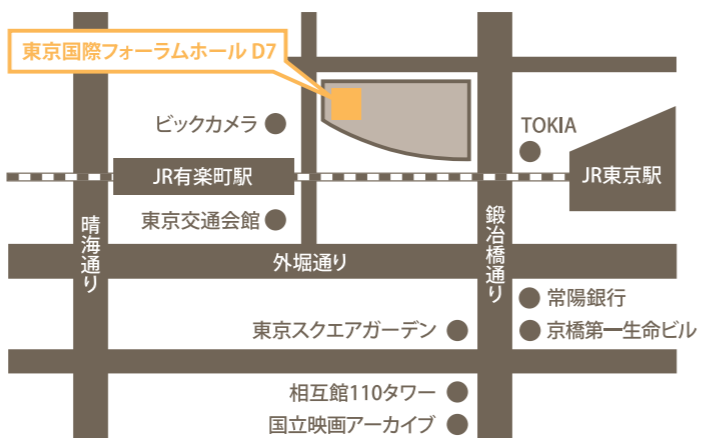
定員 **200名**(各回入替制・**申込先着順**)

入場料 **500円(税込)** ※当日入場時にお支払いください。

主催 東京国際フォーラム  
国立映画アーカイブ 特別協賛 木下グループ

後援 東京都

協力 東京都交通局 東急(株) 東京メトロ



【お問い合わせ】03-5221-9043  
東京国際フォーラム事業推進部 シネサロン担当(平日10:00~17:00)

## 同時開催 東京と鉄道資料展 **入場無料**

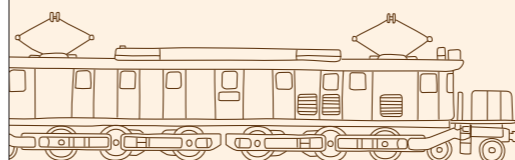
東京都交通局や、東急電鉄が所蔵する貴重な資料を  
12月2日の第2回シネサロン&トーク開催に合わせて  
展示いたします。

日時: 12月2日(月)【昼の部】14:00~【夜の部】18:00~  
場所: 東京国際フォーラム Dブロック6階  
協力: 東京都交通局 東急(株)

表紙写真出典 上段 1,2,3,4,5,6,7 下段 8,9,10,11,12 1.3.『見えない鉄道員』 2.6.8.11.12『つばめを動かす人たち』 画像提供: 株式会社オール 日映科学映画/科学映像館 4.10.『都電60年の生涯』 5.9.『電気機関車』 7.『地下開発時代一地下鉄編一』



## 東京国際フォーラム+国立映画アーカイブ 月曜シネサロン&トーク



# 東京と鉄道

「月曜シネサロン&トーク」は国立映画アーカイブ(旧 東京国立近代美術館フィルムセンター)所蔵の貴重な文化記録映画を講師の解説付きで上映する映画会です。  
2019年度は「東京と鉄道」をテーマに、機関車、都電、新幹線、地下鉄等に関連する作品を全4回に渡って上映します。

第1回 2019年10月7日(月) 第2回 2019年12月2日(月)

第3回 2020年1月27日(月) 第4回 2020年3月16日(月)

開演時間 各回【昼の部】15:00(開場14:00)【夜の部】19:00(開場18:00)

主催: 東京国際フォーラム 国立映画アーカイブ 特別協賛: 木下グループ 後援: 東京都  
協力: 東京都交通局 東急(株) 東京メトロ



第1回

2019年  
10月7日(月) 【昼の部】15:00～(14:00開場)  
【夜の部】19:00～(18:00開場)

鉄道の仕組み

—よみがえる国産大型電気機関車EF52形—



『電気機関車』

『電気機関車』  
(67分/サイレント/Blu-ray)

国産大型電気機関車EF52形の全貌を描く。車輪など一つの部品から機関車を作りあげる全工程、電気機関車の原理と操縦法までが丹念に捉えられ、鉄道の仕組みと魅力に溢れた貴重な作品。

1931年(ミキ・ライブラリー)  
監督: 鉄道省技師 高田豊、鉄道省技手 小泉龍雄  
編集: 鉄道省技師 山下善太郎

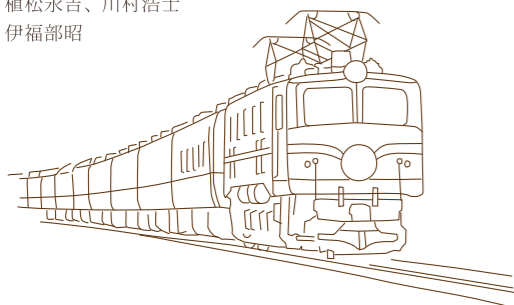


『つばめを動かす人たち』

(25分/Blu-ray)

東海道線の全線電化以前に電気機関車と蒸気機関車(名古屋一京都間)を繋ぎかえて東京一大阪間を8時間で走った特急「つばめ」の1日を、その安全確実な運行を支える人々の仕事とともに描く。

1954年(日映科学映画製作所/企画: 日本国有鉄道)  
監督: 関川秀雄、苗田康夫  
脚本: 関川秀雄  
撮影: 植松永吉、川村浩士  
音楽: 伊福部昭



第2回

2019年  
12月2日(月) 【昼の部】15:00～(14:00開場)  
【夜の部】19:00～(18:00開場)

都民の生活と足



『都電60年の生涯』

『伸びゆく東急車輛』  
(21分/Blu-ray)

1960年代の人々の生活や楽しみを支えた様々な車両から、横浜東急車輛本社工場で生産されていた電車の車両やオールステンレスカーの製造工程、遊園地のモノレールなどを紹介。

1964年(アジア映画社/企画: 東急車輛製造株式会社)

『わが街 多摩田園都市』

(9分/Blu-ray)

田園都市線沿線に理想的な住居都市をつくらうとした街づくりの計画から完成までを描く。68年10月の完成(23分)後、翌月作成された改訂版での上映。

1968年(東急エージェンシー、毎日映画社/企画: 東京急行電鉄株式会社)  
監督・脚本: 渥美輝男 撮影: 平顯二 音楽: 中村信也 解説: 川上裕之

『都電60年の生涯』  
(30分/サイレント/Blu-ray)

個人映画作家の荻野茂二が、都電の歴史を写真と実写で綴った作品。1929年の自作『電車が軌道を走る迄』のフッターを用いた軌道敷設の様子から、都電が銀座から姿を消す1967年までの栄枯盛衰と東京の変貌を描く。

1967年(オギノ)  
監督: 荻野茂二



東京と鉄道

第3回

2020年  
1月27日(月) 【昼の部】15:00～(14:00開場)  
【夜の部】19:00～(18:00開場)

新幹線の時代



『見えない鉄道員』

『東京→大阪3時間 東海道新幹線 第一部』  
(20分/Blu-ray)

輸送力増強の打開策として決定した広軌の東海道新幹線の建設の必要性と敷設コースをわかりやすく解説したPR映画。各種さまざまな研究試験や工事の状況が空撮を交えて克明に捉えられている。

1961年(新理研映画株式会社/企画: 日本国有鉄道)  
監督: 下村健二、古賀聖人

『東京→大阪3時間 東海道新幹線 第2部』  
(28分/Blu-ray)

東海道新幹線の建設への理解や協力を求めるPR映画の第二弾。新丹那トンネルや急ピッチで進められる橋桁、東京駅の司令所建設の状況や、試作車両の製作と試験などの詳細が紹介される。

1963年(新理研映画株式会社/企画: 日本国有鉄道)  
監督: 古賀聖人 脚本: 宮内研 撮影: 岸寛身、新理研撮影スタッフ  
音楽: 牧野由多可 解説: 佐土一正

『見えない鉄道員』 (20分/Blu-ray)

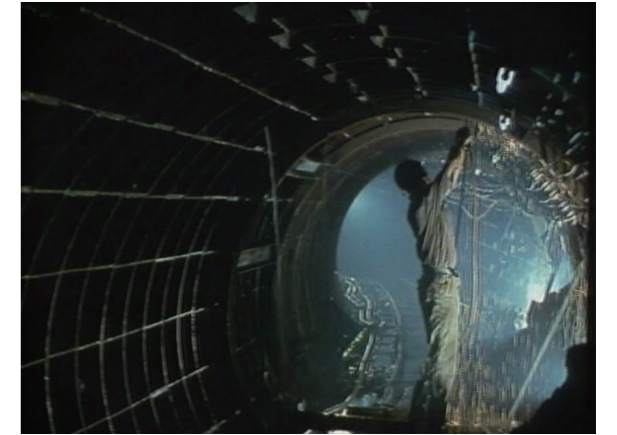
コンピューター(見えない鉄道員)と人間との集中制御による列車運行、新幹線総合指令室、みどりの窓口、自動改札機、鉄道工場、自動化操車場など、コンピューター時代へと進む国鉄の様子を描く。

1970年(岩波映画製作所/企画: 日本国有鉄道、日本鉄道サイバネティクス協議会)  
監督・脚本: 堀越慧  
脚本: 吉原順平 撮影: 久米義男 音楽: 宮崎尚志

第4回

2020年  
3月16日(月) 【昼の部】15:00～(14:00開場)  
【夜の部】19:00～(18:00開場)

地下鉄の開発



『地下開発時代—地下鉄編—』

『地下開発時代—地下鉄編—』  
(31分/Blu-ray)

銀座線、丸ノ内線、地下鉄8号線(有楽町線)の銀座駅を中心に、いかに東京の都市生活に支障をきたさずに地下鉄を作るか、その最先端の技術と綿密な計画、工程を記録した作品。

1972年(鹿島映画/企画: 鹿島建設株式会社)  
監督・脚本: 石松直和 撮影: 正木凌

『有楽町線掘進10,900m—池袋・銀座一丁目間建設記録—』  
(31分/Blu-ray)

3年余の難工事の末に完成した有楽町線の建設記録映画。シールド工法などの高度な土木技術がいかに駆使されたのか、地下鉄とその建設に携わった人々の技術と熱意に対する認識を新たにする作品。

1974年(日本映画新社/企画: 帝都高速度交通営団)  
監督: 川田郁雄  
脚本: 大森邦彦  
撮影: 高木定敏、松本道人  
音楽: 染谷欣吾  
解説: 池田孝一郎

